



みやぎ 葉子 議員

健康保険証

廃止の方向 どうなるのか 令和7年7月末まで有効

問 健康保険証は、住民の命と健康を守る大事な必需品だ。

政府は慣れ親しんだ保険証を今年の12月で廃止をし、マイナ保険証に替えると言っているが、どうなるのか。

答 佐田 住民課長

健康保険証は今年の12月2日で廃止となり、マイナ保険証に替わる。しかし、今年8月に更新される現在の健康保険証は、経過措置として来年令和7年7月31日まで利用可能となる。

問 マイナ保険証の取得は任意だが、持たない人はどうなるのか。

答 佐田 住民課長

マイナ保険証の替わりに資格確認書を交付する。

問 マイナ保険証は、病院ではどのような使い方をするのか。

答 佐田 住民課長

毎回の診察ごとにマイナ保険証を提示し、4桁の暗証番号も打ち込む。

問 高齢者や障害を持つ方など、番号の打ち込むのが難しい方もいるが、どうすればいいか。

答 佐田 住民課長

暗証番号の打ち込みが困難な方は本人同意の上付き添いの人等に打ってもらう事は可能だ。

脱炭素と防災

被災後 自立の取組みは

電気の自家発電が役立つ

答 村越 情報防災課長

南海トラフ地震は支援が届きにくい状況を想定した準備をして欲しい。

地域での助け合いも必要となるが、地域で何が出るか、今年度、地域担当職員と自主防災会で検討する計画をしている。行政としては情報通信の確保が大事で、準備を進めている。

問 脱炭素事業は被災後の自立にも大きな効果があると思うが、具体的に何ができるか。

答 宮川 環境政策室長

太陽光パネルの設置は、震災後の停電になった時電気が使える。指定避難所全てにパネルを設置する予定で、冷暖房をはじめ、人工呼吸器等の医療器具の活用等も可能となり、被災後にも役立つと考える。

脱炭素事業をする事で防災力の向上につながる。

【その他の質問】

・教育長の所信を伺う



太陽光パネル設置状況（令和5年度実施）
上：保健福祉センター駐車場
下：旧湊川小学校

